

公益社団法人 福井県理学療法士会

News Letter No.185

発行人：福井県理学療法士会
〒910-0855

福井市西方 1-2-11 嶋田病院

会 長：四谷 昌嗣

ニュース編集部：辻 大樹

会員数：921 名

施設数：167 施設

(平成 30 年 7 月末日現在)

量と質

福井県立病院 小澤 純一

皆さんは、福井県内に何人の理学療法士がいるか知っていますか？

現在、福井県理学療法士会の会員数は、平成 30 年 3 月 31 日で 906 名です。今年度の新入会員や休会・退会している会員を合わせると、おそらく 1000 名を超える理学療法士がいます。人口 10 万人当たりの理学療法士会員数も、福井県は全国 11 位（106.5 人/10 万人）※となり、人口に比して理学療法士の数が多い県といえます。また、県別の会員数増加率も全国 14 位（4.01%）※であり、増加傾向も続いています。私達の仲間がこれだけいることは、福井県の医療福祉にとって大きな財産であり、私達自身にとっても大きな力です。しかし、医療や保健福祉の分野はその費用の多くが税金で賄われ、少子高齢社会を背景に多職種がせめぎ合う厳しい状況を考えると、私達は知恵を絞り、力を合わせて自分たちの職域を守り広める努力が必要と考えます。

また、近年、理学療法士の質の低下を指摘する意見に触れる機会が増えました。協会の生涯学習システムも、今年度には刷新案が提示される予定です。士会・協会活動を通じて、質と量の両方を高め、共に Problem solving（問題解決）する臨床知を高めていきましょう!!

※平成 29 年度 理学療法士 県別会員数増加率と県別人口 10 万

対比ランキング資料より



福井県理学療法士会

2018年8月13日

第22回福井県理学療法学会報告

5月20日に第22回福井県理学療法学会が開催され、本年は新しい試みとして、ハンズオンセミナーの開催があり、受講者の方々と講師の先生との距離がとても近いことで普段の講習会とはまた違った講習会となったようです。また昨年に引き続き、親子ルームの設置がありました。親子ルームではこれまではお子さんが小さいことで参加が難しかった方々が気兼ねなく参加できただけでなく、お子さんからすると親御さんの普段見ることのできないPTとしての顔が垣間見えた貴重な場ともなれたようです。今回ハンズオンセミナー、親子ルームの開催者側、参加者側の声をお聞きました。

ハンズオンセミナーを開催して

学術局 担当理事

シンシア訪問看護ステーション 亀井 健太

本年5月に行われた第22回福井県理学療法学会では、新たな試みとして、ハンズオンセミナーを企画しました。ハンズオンセミナーは、参加体験型の実習スタイルをとり、それぞれの講師から手取り足取りその内容を学ぶことができます。今回は運動器系、神経系、内部障害系と3つのコンテンツを用意しました。

実際に私も講師として関わりましたが、一方通行になりがちな講師が話すだけの講習会に比べ、受講者との距離が近いことで疑問や知りたい内容について対話形式でお伝えする貴重な機会であると感じました。

今回参加いただいた受講者からも、「臨床での疑問点を解決することができた。講義を聴いているだけではわからないこともあり、実際にやってみてわかることの方が多い」との感想も聞かれました。

学会の企画運営部門として、これからは新たな企画・試みを考えていきたいと思います。会員の皆様の県学会への参加をお待ちしております。

「ハンズオンセミナー 内部障害系」に参加して

福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部 高山 マミ

5月20日(日)に福井県理学療法学会で開催された、内部障害のハンズオンセミナーに参加させていただきました。「セラピストが押さえておきたい心電図モニタリングの基本手技 - 急性期から在宅まで - 」というテーマで福井循環器病院の清水浩介先生、シンシア訪問看護ステーションの亀井健太先生にご講義をしていただきました。私は4月から呼吸・循環器チームに所属しており、日々、携わっている患者様は心電図をモニタリングしながら理学療法を行っていく方が多い状況の中、今回の講義は、幅広い時期を対象とし基本的な電極の貼り方や位置によって変わる波形の変化など基礎的な内容を再学習することができ、とても有意義な時間となりました。ハンズオンセミナーは、福井県理学療法学会の中でも初の試みということで、今後も開催される際は今回参加されなかった先生方にもぜひ参加していただきたいと感じました。



各会場で講師の方々から直接
様々なテクニックが受けられとても好評でした

2018年8月13日

県学会に親子ルームを設置して

福井大学医学部附属病院リハビリテーション部

福井県士会学術局士会学術大会部 部長

久保田 雅史

県学会における親子ルームの設置は昨年度に続いて2度目です。若い世代の会員が増えていますが、子育て中でも学会に参加して、理学療法の“いま”を感じてほしいとの思いから設置に至りました。昨年度は、会場を観覧できる別室が既にあり、親子ルームとして使用しましたが、今大会の済生会病院にはそういった環境はありません。そこで、第一会場の映像をそのまま親子ルームに映写するスタイルをとりました。4家族が使用して頂き、お子さんとの時間を過ごしつつ、様々な情報交換ができたと思います。また、親の仕事の一部をお子さんに感じてもらう良い機会だったのではないでしょうか。参加された方のアンケートでは、「非常に良い」「来年も設置してほしい」とのコメントを頂き、来年度も設置を予定しています。学会部としては、もっと多くの方にご利用して頂き、子育て世代も、そうでない世代も、幅広く参加しやすい学会の開催を目指していきます！



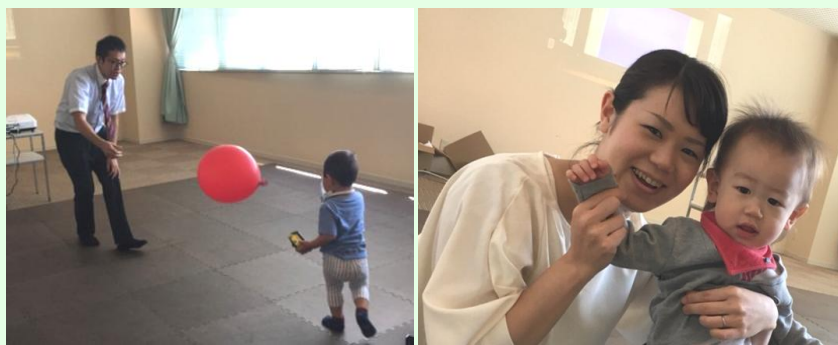
真剣な横顔のお父さん。でも実は横でお子さんがお昼寝中。。。こんなことも親子ルームならではの場面です。

福井県理学療法士学術大会にて「親子ルーム」を利用させて頂きました

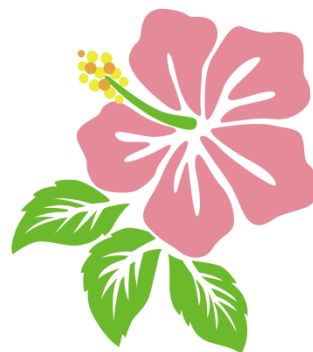
福井総合病院 竹澤奈央

私たちは夫婦ともにPT/ATであり、興味がある分野も同じで、今までは一緒に参加することが多かったのですが、育休復帰後は別々の参加を検討していました。今回、県士会ニュースで親子ルーム設置を知り、夫婦揃って参加することができました。親子ルームは子供だけでなく親子揃って過ごすことができる別室となっていました。子供がまだ一歳でいつも遊んでいるおもちゃを持参しましたが、大人しくしていただけるか不安もありました。しかし、当日は周りの方もあたたかい目で見守ってくださり落ち着いて過ごすことができました。

今後はよりたくさんの方に親子ルームの設置を知って頂き、利用が増えることで、他の勉強会でも設置が検討されることを願っています。



頭を使った後は、お子さんと遊んで体を動かしてリフレッシュ！
緊張感も持ちつつ、リラックスもできますね。



2018年8月13日

施設紹介

たんぽぽ苑

理学療法士 下山田 有輝

当施設は社会福祉法人 森田福祉会 たんぽぽ苑です。1994年04月15日に開設され、今年で24年目となりました。リハビリスタッフは、PT4名、OT1名、ST1名、あん摩マッサージ指圧師1名の計7名が在籍し、定員80名の入所と定員20名の短期入所生活介護、定員50名の通所介護のサービスを提供しています。

【私たちは、患者さんやご利用者の本位の、優しく親切な医療・介護・保育とサービスの向上に努めます】を理念とし、安心・安全・信頼。地域と共に医療・介護・保育で笑顔を広げたいと、日常生活において介護が必要な方に多職種が連携しケア・サービスの提供を行っています。

リハビリでは、ケアプランに基づき、ご利用者毎に評価し、日常生活で生じる問題を、安全にかつ介護者の過度な負担なく行えるよう指導し、施設、在宅生活が安心して継続できるように支援しています。

介護老人福祉施設のため、入所・通所利用者に、様々な行事やレクリエーションが提供されており、リハビリ職員もスタッフとして奔走しています。



ご利用者が、外出行事で安全に歩行出来る様子や、買い物などで金銭管理が出来る姿、笑顔で楽しんでいただけている姿にやりがいを感じています。

ご利用者が、日々の生活に生きがいを見だし自信を持ち続けていけるよう、またその人らしく人生を謳歌できるように今後も手助けしていけたらと考えています。

2018年8月13日

Professional ~Style of works~

Profile

- ・氏名：野路 慶明
- ・所属先：福井循環器病院
- ・修得資格：認定理学療法士（呼吸・循環）
- ・経験年数：5年
- ・出身校：金沢大学
- ・その他の資格：3学会合同呼吸療法認定士、
心臓リハビリテーション指導士



Questions

Q1 この資格を取得しようと思った理由を教えてください。

新人教育プログラムを受講した際に認定理学療法士について知り、取得を目指しました。職場では内部障害疾患を担当する機会が多かったので、特に関連のある呼吸と循環の領域を選択しました。

Q2 この資格に関わる魅力を教えてください。

認定試験に合格して、認定証書が送られてきたときはとてもうれしかったですし、成果が形として残ることは魅力の一つと感じています。また、5年という認定期間が定められているため、継続して学習することや講習会参加への意欲にもつながると思います。

Q3 この資格を取得して良かったと思うことを教えてください。

基本的な内容から最新のトピックについても学ぶことができ、各領域の知見を深めることができたと思います。また、選択領域の内容だけでなく必須研修会では、研究方法論や機器管理など理学療法士として大切なことを多く学ぶことができたと感じます。今後生涯学習制度の見直しがあるようなので早いうちに取得することができてよかったと思いました。

Q4 この資格を取得するために大変だった事などを教えてください。

講義内容をもとに勉強しました。指定研修や必須研修は福井県外で行われたため、ポイントの取得は大変でしたが、福井県内部障害リハ研究会をはじめ、県内で行われている講習会の多くでポイントが取得できるようになったので非常に助かりました。

Q5 今後のセラピスト活動に対する計画や目標、希望などを教えてください。

学習したことを出来るだけ臨床に生かしていけるよう今後も努力していきたいです。生涯学習に関しては、専門理学療法士取得を目指し、臨床実習指導や研修会の講師活動も行っていければと思います。

2018年8月13日

特派員が行く！

～ 理学療法展@エルパ ～

福井リハビリテーション病院 中村 泰士

Q1 協力スタッフとして参加したきっかけは何ですか？

A 以前から理学療法展への興味はありましたが、なかなか勇気が出ず、参加できずにいました。今回、同期の友達に「一緒にやってみないか？」と誘われ、決心がつきました。



Q2 当日大変だったこと、戸惑ったことは？

A 多くの方に理学療法展に参加していただけるように、エルパの入り口などでティッシュ配りを行っていたのですが、あまり経験のないことであったため、大変でした。今後、街中などでティッシュ配りの場面に遭遇したなら、断らずに受け取るようにします(笑)。



Q3 参加して良かったと思う点は？

A 今回、ティッシュ配り以外に、姿勢分析の結果のフィードバックでも参加者と関わらせていただきました。その中で、熱心に説明を聞いていただけたことが非常にうれしく、参加して良かったと思いました。



Q4 来場者から聞かれた声はどうでしたか？

A 姿勢分析の説明後に「ありがとう、自分がどんな姿勢かわかって良かった。」との声は多く聞かれました。また、私ではないのですが、来場者から「こんな良いイベントは年に1回と言わずに数回開催すべきだ」と言われたスタッフもいたそうです。

Q5 来年以降も参加したいと思いますか？

A 大変な部分もありましたが、私自身も理学療法展を楽しめたかと思います。来年以降も、参加できたらと思っています。

2018年8月13日

福井しあわせ元気大会 2018 に向けて



福井しあわせ元気大会コンディショニンググループ運営の準備

ふくい国体準備委員長 山崎孝（介護老人保健施設新田塚ハイツ）

10月の福井しあわせ元気大会（第18回全国障害者スポーツ大会）では、参加選手が万全な態勢で大会に臨めるよう、県内の有資格者によるストレッチ等で選手のコンディションの調整を図る目的で各競技会場にコンディショニンググループが設置される。福井県理学療法士会の担当会場は6会場で、昨年の秋のスタッフ募集を経て70名の会員が決定した。現在までに2回のリーダーミーティングと1回の全スタッフミーティングを開催している。県国体担当者からの説明や視察員した会員からの情報を受けて運営のイメージは整っている。これからは本大会に向けて、会場ごとに打ち合わせを行い、細かな準備をすすめていく予定である。またチームふくいの練習会に参加したり、スポーツ支援部が請け負っているアスリート強化事業に参加して選手に対するサポートを経験する機会を計画している。

下の表は、競技の日程、会場、スタッフ数、会場リーダーを示す。

競技種目	車椅子バスケット	陸上競技	フライングディスク	サッカー	ソフトボール	フットベースボール
日程	10/7 日 10/8 月祝	10/13 土 10/14 日	10/13 土 10/14 日	10/13 土 10/14 日	10/13 土 10/14 日	10/13 土 10/14 日
会場	県営体育館	県営陸上競技場	三国運動公園 陸上競技場	丸岡スポーツ ランド	武生東運動公園 ソフトボール場	敦賀きらめき スタジアム
人数	10名	26名	12名	13名	4名	5名
会場リーダー	佐治（福井医療大学）	辻（こども療育センター）	五十嵐（宮崎病院）	成瀬（福大医学部病院）	小澤（県立病院）	後藤（リハぷらす）



2018年8月13日

第18回全国障害者スポーツ大会



福井しあわせ元気大会 2018

第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

プレ大会

福井しあわせ元気大会プレ大会【サッカー（知的）】を視察して

福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 成瀬 廣亮

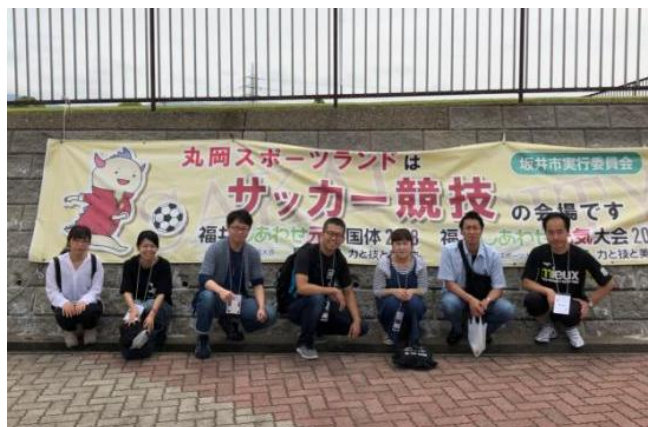
「思っていたのと全然違う！」

「障がい」者サッカーに対する僕個人の勝手なイメージは、走るというよりは歩く。パスというより、ボールに集まり団子サッカーになってしまうのかなと思っていました。しかし、試合を観戦して、一生懸命にプレーをする選手の姿からは僕のイメージしていた様子とはまるで違いました。僕自身、気がついたら手を叩きながら腹から声を出して熱狂していました。確かに選手ごとに基礎体力もサッカー技術も「違い」はありましたが、激しく体をぶつけ合い、ボールを蹴り、ゴールを奪い合うサッカーの醍醐味を感じることができました。視察を通して、自分が今まで思っていたイメージとは全然違うことが分かりました。



関係者から「知的障害がある場合、痛みや違和感は、不安を助長してしまいがち」というお話を伺いました。まさに僕たち理学療法士が日々行っている臨床で対応できる領域であると感じました。ストレッチやコンディショニング、テーピングなど自分のできる基礎的な技術があれば、自分でも選手たちを

サポートできるのではないかと思います。そして今まで自分が臨床で培ってきた技術や知識を応用できる印象も持てました。さらに参加してみて、楽しく有意義な時間が過ごすことができ自分の意識も変わりました。今度は家族で応援にいきたい、そんな風に思えるほど障スポ大会を身近に感じました。ぜひ、当日スタッフ以外の会員にも、実際の競技会場に足を運んで、観てほしいと思います。



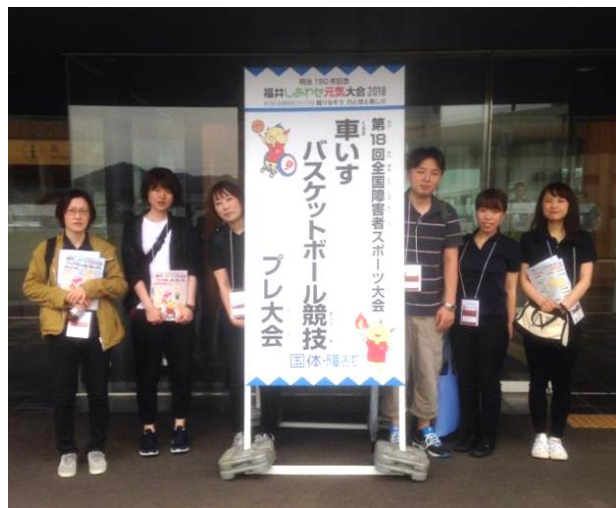
2018年8月13日

福井しあわせ元気大会プレ大会を視察して

公立丹南病院 稲倉 貴弘

福井しあわせ元気大会で陸上競技のコンディショニングスタッフとして参加するにあたり、今回福井県営陸上競技場で開催されたプレ大会を視察させていただきました。オープニングセレモニーではびねすダンスが披露され、開会式が始まり、1500m 走、走り幅跳び、砲丸投げなどトラックとフィールドで競技が進行していきました。障害者スポーツをしっかりと生で見ることで体が初めてでしたが、どのような競技があり、参加者の区分があり、競技が進行していくかをプログラムを見ながら把握して、大会の雰囲気を感じることができ良い経験となりました。車椅子の操作能力を競うスラロームや大豆等を入れた袋を投げる投てき種目のビーンバッグ投げなど、あまりなじみのない種目を事前に知ることができたこともよかったです。また、本大会でコンディショニングルームが設置される隣の県営体育館では、同じく車椅子バスケットボールのプレ大会が行われており、そのスピード感と迫力も目にすることができました。

10 月にはさらに大勢の参加者や関係者が来福し、県内各地でさまざまな競技が開催されます。国体・障害者スポーツ大会は毎年行われますが、地元開催となると約 50 年に 1 度の大イベントなので大会を楽しみながら、またおもてなしの心を持ってスタッフとして大会に携わりたいと思います。



2018年8月13日

ニューバランスカップの大会サポートに参加して

福井総合病院

田辺 亨

全国のハンドボール強豪校が集まるニューバランスカップが7月14、15、16の3日間、ここ福井県にて開催されました。この大会は、全国屈指の強豪校(高校)が一堂に会し、インターハイを前に凌ぎをけずる大会です。大会運営側より県士会に依頼があり、スポーツ支援部員を中心とした11名がオフィシャルトレーナーとして参加しました。

ハンドボールは「球技の中の格闘技」と例えられるほど、激しいコンタクトプレーが多いスポーツです。それゆえ、骨折や足捻挫等の外傷、腰痛やシンスプリント等の様々な障害が頻発します。

私は7月15日、安居中学校の会場に参加しました。当日は気温36度と自身が熱中症にならないか心配な日でした。試合が始まると、接触による脛の切創や鼻出血、カッティングした際の足捻挫、大腿部の肉離れ等が発生し、滴る汗を拭いながら対応に追われました。その他、腰痛によりコンディショニングを希望する選手も数名トレーナーブースに来ました。幸か不幸か、コンディショニングや止血、捻挫に対するアイシング、テーピング等多種多様な経験をすることができました。

その中で印象深かったことをご紹介します。ある選手に腰痛のコンディショニングを行っていた時の話です。その選手は、体幹機能の弱体化が腰痛の要因として考えられたため、腰痛と体幹機能の関係を説明した後トレーニング指導を始めました。しかし、トレーニング指導を行っていると私の一方的な指導のみで質問などはなく、やや消極的な様子でした。

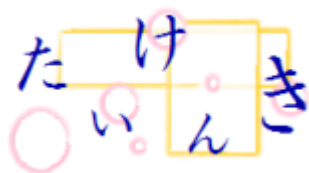
そこで、会話の中でシュート力に自信がないと話していたため、シュート力は腕の力だけではなく体幹機能も影響することを丁寧に説明しました。すると不思議と目つきが変わり、食い入る様に話を聞いてくれました。試合後にはわざわざトレーナーブースにきて挨拶をしてくれました。

選手にとってトレーニングは非常に地味に感じることもあると思います。選手は「上手になりたい」「レギュラーをとりたい」等競技力向上の気持ちが強いことが普通です。競技力向上につながるエッセンスを具体的に盛り込みながらコンディショニング指導を行ったことで、意欲的に話を聞いてくれたのかもしれない。

私達の日々の臨床も同様かと思いますが、選手の立場に立って、どうすれば興味をもってくれるか創意工夫する姿勢がとても重要と認識できた機会でした。



2018年8月13日



二州・若狭ブロック合同研修会に参加して

上中診療所 奥 共平

平成30年6月10日、若狭医療福祉専門学校にて開催された二州・若狭ブロック合同研修会に参加させていただきました。

杏林大学、理学療法学科の松村将司先生による「前庭リハビリテーション～めまいに対するアプローチ～」という演題で、めまいについての基礎から理学療法士としてできる、めまいに対する評価・アプローチまで、臨床での経験談や、先生自身が良性発作性頭位めまい症になった体験談なども踏まえて、実技を交えながらご講義して頂きました。

めまいがする、ふらつきがあるなどの訴えは、臨床でよく聞きますが、これまで私はその多くが加齢やストレスによるものであると考えていました。しかし、講義内容からめまいの発症要因には、耳性、頸性、中枢性、心因性など他にも様々なものがあり、正確に鑑別することができれば、そこに焦点をあて治療できるため、正しく評価できることが重要であると再認識しました。また、めまいに対する理学療法は短期効果が非常に高く、1回の施行だけで改善するケースが多いと知りました。講義の後半には、実際に先生が経験された症例に対してどんな理学療法を実施するか考える時間があり、講義を受ける前の自分では考えられなかったアプローチの仕方を考えることができるようになっており、嬉しかったですし、参加して良かったと感じました。



講義の最後には、松村先生が「めまいの理学療法が世に広まり、一人でも多くの方を助けることが出来るようになるのが私の目標」とおっしゃっていました。講義を受講した一人として、職場の先生方などと講義内容を共有、臨床で活用し、これからめまいの理学療法の発展に貢献したいと思います。

JAみのり 野原 彰泰

平成30年6月10日、若狭医療福祉専門学校にて二州・若狭ブロック合同研修会が開催されました。今回、「前庭リハビリテーション～めまいに対する理学療法～」という演題で杏林大学の助教授である松村将司先生をお招きし、ご講義していただきました。

松村先生の講義では平衡感覚に関わる器官の解剖やめまいの種類、それに合わせた評価・治療方法そして、ご自身が体験されためまいについてお話いただきました。私はめまいを患われている方の治療を経験したことはありませんが、実際に松村先生が関わられた患者様や御自身のめまいの経験からめまいが只活動制限の因子になるだけでなく、鬱傾向となり参加制約にも繋がることを知りました。評価方法や治療方法についても実技を交えながら解説されましたが、特別な道具を必要とせず患者様に寝ていただく場所と技術を知るセラピストさえいれば行える方法であり、今後に活かしていきたいです。



私が印象に残ったことは良性発作性頭位めまい症に対する治療方法でした。浮遊してしまった耳石を患者様に複数の姿勢を順番をとっていただくことで元の場所に戻す方法であり、映像でとても分かりやすく解説していただきながら私も体験しました。その実施し易さもさることながら、治療によるめまいの改善率もとても高く素晴らしい治療方法だと思いました。

今回の研修会を通じて、めまいに対して積極的に取り組み、治療するべきだと気づきました。利用者様との関係を綿密にし、訴えがあった際には力になれるよう努めたいと思いました。

2018年8月13日

第 1 回 丹南ブロック事例検討会報告



平成 30 年 6 月 21 日 (木) にほっとリハビリシステムズにて第 1 回丹南ブロック事例検討会が開催されました。業務終了後のお忙しい中、32 名が参加し症例に対して意見交換をしました。丹南ブロックの事例検討会はよくみられる座学で発表を聞く事例検討会と違い、大きな模造紙と付箋紙を使用し、それぞれの意見を出し合い、グループでまとめ発表します。発表者にもフィードバックしやすいように工夫しています。

今回の事例検討会では病院、老健施設、訪問リハビリなどのいろいろな場面で活躍している理学療法士だけでなく作業療法士や言語聴覚士といった他職種からも参加もあり、より多方向からの視点があり、たいへん活発に意見がかわされました。

丹南ブロックは日頃から顔をみえる地域を目指しており、地域全体で繋がろうと活動しています。ぜひ興味がある方はほかの地区の方でも気軽にお声をかけていただければと思います。

《発表者の声》

事例を発表する機会が初めてで、大変緊張しましたが、たくさんの先生方が参加され、また、グループワークということもあり、気楽に発表ができました。

自分が悩んでいる症例を発表しましたが、もう少し検討が弾む症例のほうが良かったのではないかと考えています。

たくさんの先生方の意見、考えかたを学べ、勉強になりました。また、事例検討会での意見など取り入れてリハビリも行っています。大きな改善はみられていませんが、リハビリの引き出しが増えたことで、利用者様も楽しそうにリハビリを行えています。

PT の先生方だけではなく、ST、OT の先生方も参加されていたため、PT 以外の専門のアドバイスもいただけて良い検討会だったと思います。

《参加者の声》

今回、初めて事例検討会に参加させていただきありがとうございました。

事例を用いて様々な意見がありそのなかで自分の考えも深めることができました。

参加させていただいて症例についての情報が少し少ないように感じました。実際に症例の方と関わるなかで問題点の評価であったり、目標に挙げていることが具体的でなかったので少し考えづらいこともありました。

しかし、様々な先生方の意見をお聞きして勉強になることや視野が広がったこともたくさんあり勉強になりました。

また機会がありましたら参加させていただきたいと思います。



2018年8月13日

新入会員紹介

宮崎病院



村上 美奈絵

さくら病院



阪井 美雪

北倉 彩季

春江病院



五十嵐 愛海

青木 由佳

前田 結香

トゥモローズ
リハビリテーショングループ



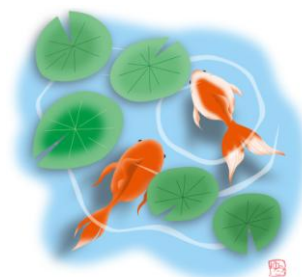
今村 明日香

上嶋 大輝



2018年8月13日

事務局からのお知らせ 8月



◆ 会員の動向（平成30年7月末現在）◆

会員数：921名（勤務先会員 885名、自宅会員 36名）、施設数：167施設

新入会員：42名、休会者数：77名、退会者数（会費未納）：14名

※士会活動は皆様の会費によって運営されております※

◆ 外部団体からの資料（平成30年4月～7月末受付分）◆

下記の資料を事務局で保管しております。ご興味ある方は事務局へお問い合わせ

学術誌		ニュース	
理学療法-臨床・研究・教育 第25巻	(公社)埼玉県理学療法士会	静岡県理学療法士会ニュース ゆまにて No.167	(一社)静岡県理学療法士会
理学療法湖都	(公社)滋賀県理学療法士協会	和歌山県理学療法士協会ニュース 83号	(公社)和歌山県理学療法士協会
理学療法の科学と研究	(一社)千葉県理学療法士会	福井県作業療法士会ニュース SU SEN Vol.2	(一社)福井県作業療法士会
理学療法学 Vol.145(2)	(公社)日本理学療法士協会	滋賀県理学療法士会ニュース No.207	(公社)滋賀県理学療法士会
高知県理学療法 2016 No.24	(公社)高知県理学療法士会	広島県理学療法士会ニュース No.253	(公社)広島県理学療法士会
第22回静岡県理学療法士学会誌	(公社)静岡県理学療法士会	神奈川県理学療法士会ニュース No.275	(公社)神奈川県理学療法士会
理学療法沖縄 学術誌	(公社)沖縄県理学療法士協会	京都府理学療法士会ニュース NOW 276	(一社)京都府理学療法士会
理学療法研究・長野 No.46	(一社)長野県理学療法士会	JPTANews No.312	(公社)日本理学療法士協会
理学療法新潟Vol.121	(公社)新潟県理学療法士会	大阪府理学療法士会ニュース 第267号	(公社)大阪府理学療法士会
福井県診療放射線技士会 ふあっと福井 第38号	(公社)福井県診療放射線技師会	愛知県理学療法士会ニュース No.189	(公社)愛知県理学療法士会
理学療法学 Vol.145(3)	(公社)日本理学療法士協会	秋田県理学療法士会ニュース 第182号	(公社)秋田県理学療法士会
第69回北海道理学療法士学会大会	(公社)北海道理学療法士会	熊本県理学療法士協会「かくどけい」VOL.127	(公社)熊本県理学療法士協会
第32回和歌山県理学療法士学会大会 大会誌	(公社)和歌山県理学療法士協会	静岡県理学療法士会ニュース ゆまにて No.168	(一社)静岡県理学療法士会
理学療法の臨床と研究No.27	(公社)広島県理学療法士会	群馬県理学療法士協会ニュース 源流 No.134	(一社)群馬県理学療法士協会
		滋賀県理学療法士会ニュース No.208	(公社)滋賀県理学療法士会
		大分県理学療法士協会ニュース あおぞら No.115	(公社)大分県理学療法士協会
		大分県理学療法士協会広報誌 志 8号	(公社)大分県理学療法士協会
		ゆきわり草 新潟県理学療法士会ニュース No.183	(公社)新潟県理学療法士会
		JPTANews No.313	(公社)日本理学療法士協会
		第47回定時総会	(公社)日本理学療法士協会
		「CSW, Sふくい」(第17号)	(一社)福井県社会福祉士会
		大阪府理学療法士会ニュース 第268号	(公社)大阪府理学療法士会
		士会だより 第175号	(一社)兵庫県理学療法士会
		京都府理学療法士会ニュース NOW No.277	(一社)京都府理学療法士会
		秋田県理学療法士会ニュース 第183号	(公社)秋田県理学療法士会
		福井県言語聴覚士会ニュース 第48号	福井県言語聴覚士会
		JM TEFレポートNo.6	(公社)国際医療技術財団
その他			
災害時リハ支援対応に向けた行政理学療法士・作業療法士の課題と役割	(一財)日本公衆衛生協会		
医学中央雑誌 収載誌目録2018	医学中央雑誌刊行会		
慢性疼痛治療ガイドライン	慢性疼痛治療ガイドライン作成ワーキンググループ		
老健ふくい20号	福井県老人保健施設協議会		
NO Limit vol.73	(公社)日本理学療法士協会		
厚生労働省 平成29年度障害者総合福祉推進事業	(公社)日本理学療法士協会		
平成29年度厚生労働省老人保健健康増進等事業報告書	(一社)日本福祉用具供給協会		
福祉用具・義肢・装具支援に関する啓発と実態調査報告書	(公社)日本理学療法士協会		
第3次福井県医療費適正化計画	福井県長寿福祉課		
NO Limit vol.74	(公社)日本理学療法士協会		
福井県老人福祉計画 福井県介護保険事業支援計画	福井県健康福祉部長寿福祉課		

会員の皆様へ ◆

会員の皆様、平素より当会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。今年の夏は7月の集中豪雨に始まり、雨が上がれば35度越えの暑さが続いております。8月も引き続きこの暑さが続くと思われます。体調を崩されませんようお気お付けください。

東海北陸理学療法士学会の参加費相当のQUOカードの引き渡し期限が近付いております。委任状もご用意しておりますので、事務局までお問い合わせください。

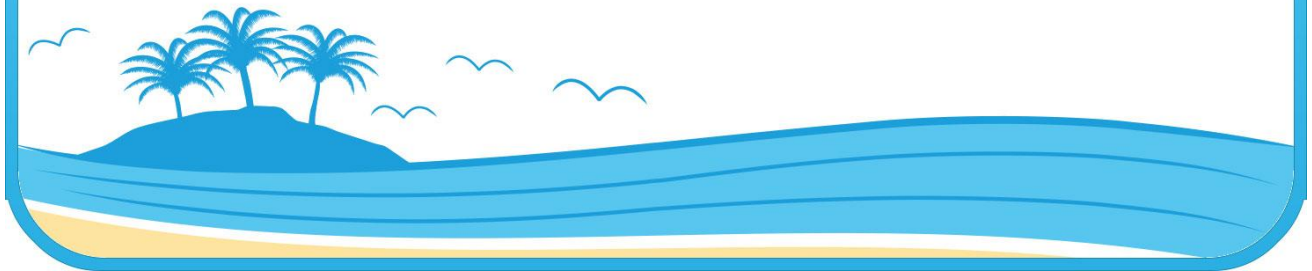
福井県理学療法士会 事務局
笈田 ・ 横井
TEL : 0776-29-7003

2018年8月13日

【編集後記】

今年の夏もとにかく暑いですね。熱中症にならないためにクーラーが必須の毎日です。どのご家庭もこの時期は電気代が急上昇ではないでしょうか？

最近はクーラーのリモコンだけでなく、熱中症予防という大義名分を立て、今日もアイスを手に取ってしまいます。



賛助会員

ミナト医科学株式会社 金沢営業所 石川県金沢市金市町二 18 番 1	ハシノメディカル 小浜市千種 1-10-18
ツールケア 福井県福井市加茂河原 2 丁目 13-32-2B	有限会社 奥義肢製作所 福井県福井市二の宮 2 丁目
株式会社ミタス 福井市問屋町 4 丁目 901 番地	
順不同	